

東京都アーチェリー協会 殿

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたりまして、格段のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

一カ月以上に渡り開催されてきました東京二〇二〇大会が終了いたしました。二〇一三年に、東京が開催都市として決定されてから、約八年間、招致活動の期間から数えますと十年を超える長きに渡り、皆様方には、大会の開催のため、ご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今大会は、コロナ禍により、オリンピック・パラリンピック史上初、一年の延期と無観客での開催という、これまで経験のない困難な状況下での開催でありました。このような状況の中においても、アスリートの挑戦する姿は、世界中の人々に、勇気と希望を、そして、あきらめなければ夢は実現する、という信じることの大切さ、素晴らしさを届けることができたと違いありません。

世界の目が東京に向けられている今こそ、東京は、大会のレガシーを持続的な回復、「サステナブル・リカバリー」に繋げ、新たなモデルを示すべく、力を尽くしてまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、大会の開催に関し、行き届かない点が多々ありましたことをご容赦いただければ幸いです。

略儀ながら書中をもちまして御礼申し上げます。

令和三年九月吉日

東京都知事

小池百合子

敬具